

平成24年度補正予算のポイント⑤
戦略的分野へのリスクマネー供給の抜本的拡大

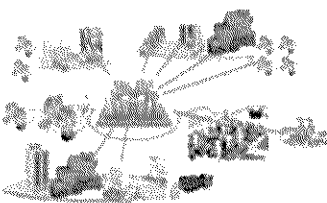
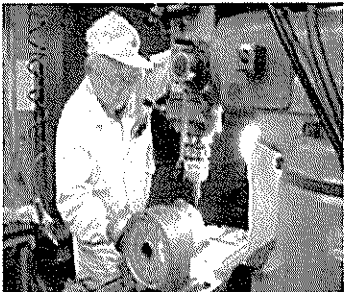

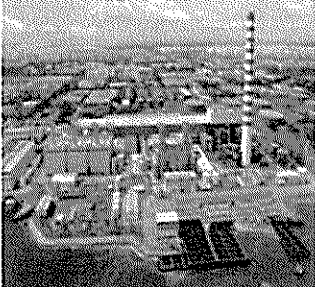
◆ リスクをとった資金が市場に十分に供給されていないことが我が国経済の飛躍の足かせ。

□ 今般の対策は、戦略的分野に対しパッケージとしてリスクマネー(※)の供給の抜本的拡大を図った初めての試み。

また、こうしたリスクマネーを呼び水とした、民間投融資の活性化も図る。

※事業の不確実性等に伴うリスクをとる資金。新分野ビジネスへの挑戦等を可能とすると共に、民間投融資を促進するもの。

具体的には、出資、資本性劣後ローン(弁済の順序が一般のローンより劣後、長期、元本満期一括償還、業績連動金利)等

<p>ベンチャー企業等による 新事業創出</p>	<p>異業種間連携等による 新事業創出</p>	<p>中小・小規模 事業者の新事業展開・ 事業再生</p>	<p>海外資源権益の確保</p>	<p>我が国企業の海外展開 (M&A、アジアインフラ整備)</p>
 <p>例) 小型風力発電技術</p>	 <p>例) エネルギー、交通、情報通信等 様々な分野の企業が先端技術を持ち 寄りあつて行うスマートシティ事業。</p>		 <p>天然ガス</p>  <p>石炭</p>	
<p>↑↑ 出資 └┘</p> <p>産業革新機構 1,040億円(産投出資)</p>	<p>↑↑ 出資・劣後ローン/劣後債 └┘</p> <p>日本政策投資銀行 1,000億円(産投貸付)</p>	<p>↑↑ 資本性劣後ローン └┘</p> <p>日本政策金融公庫 900億円(産投出資)</p>	<p>↑↑ 出資・債務保証 └┘</p> <p>石油天然ガス・ 金属鉱物資源機構 329億円(産投出資)</p>	<p>↑↑ 出資 └┘</p> <p>国際協力銀行 690億円(産投出資)</p>